

1 部

学習サポート

10 / 1 ~ 11 / 9 の各種申込締切一覧

通信教育部では各自のペースで学習していただくことを基本としておりますが、各種の申込みは下記の日程必着をお願いいたします。

(注) 備考欄の『レポート課題集』参照ページについては、『試験・スクーリング 情報ブック2014』1部に記載の変更内容も併せてご確認ください。

■全学生に関連するもの

	提出物	締切日
10月科目修了試験	レポート・ 申込みハガキ	10月8日(水)
秋期スクーリングⅡ (11/1~11/16)	申込みハガキ	10月9日(木)
秋期スクーリングⅢ (11/22~12/7)	申込みハガキ	10月30日(木)
オンデマンド・スクーリング	web上で申込み	10月1日(水)正午ほか 『With』101号p.52 および本冊子p.48 表参照
11月在宅web科目修了試験	レポート・ 申込メール	10月28日(火)正午

	受付日
<p style="text-align: center;">レポート</p> <p>(レポートはいつ提出してもよいものですが、受付日の午前中到着分までについて、まとめて教員に依頼します。ひとつの提出目標として目安にしてみてください。)</p>	<p>10月9日(木) 10月21日(火) 10月31日(金)</p>

※「スクーリング受講者専用別レポート」締切：(郵送) 受講後1カ月以内
(オンデマンド) 5部参照

■社会福祉援助技術演習・実習関連

	提出物	締切日
<p>★■社会福祉援助技術演習 A ・◆社会福祉援助技術演習 I スクーリング受講申込み (巻末申込用紙) + 1単位めレポートなど 受講条件の達成</p>	<p>11/15・16新潟会場 受講希望者 →10月15日(水) ※『試験・スクーリング情報ブック2014』より変更。</p>	<p>『レポート課題集 2014(社会福祉編)』 「★■演習 A」 p. 133~137 「◆演習 I」 p. 187~191</p>
<p>★■社会福祉援助技術演習 B ・◆社会福祉援助技術演習 II 1単位めレポートなど 受講条件の達成</p>	<p>9/15申込済み者 で10/15受講判定 希望者 →10月15日(水)</p>	<p>『レポート課題集 2014(社会福祉編)』 「★■演習 B」 p. 138~141 「◆演習 II」 p. 192~195</p>

<p>★■社会福祉援助技術実習指導B 課題3・5 ◆社会福祉援助技術現場実習指導(事後) 課題3-① (実習事後課題)</p>	<p>11/15受講希望者 →10月24日(金) 11/22受講希望者 →10月31日(金)</p>	<p>(注) 『レポート課題集 2014(社会福祉編)』 「★■指導A」 p. 147～150</p>
<p>★■社会福祉援助技術実習指導A 課題3</p>	<p>平成27年度実習申 込(9/15締切) 済み者 →10月31日(金)</p>	<p>「★■指導B」 p. 151～154 「◆指導」 p. 196～198 +『試験・スクーリング 情報ブック2014』 p. 35</p>

■精神保健福祉援助演習・実習関連

	提出物	締切日
<p>■精神保健福祉援助演習B-2 +■精神保健福祉援助実習指導A-2 +帰校指導 +■精神保健福祉援助実習B選考試験 受講申込 (対象者に配付の申込用紙)</p>	<p>10月31日(金)</p>	<p>(注) 『レポート課題集 2014(社会福祉編)』 「■演習B」 p. 241～245 「■演習C」 p. 246～249 「■指導A」 p. 250～253</p>
<p>■精神保健福祉援助演習C-2 +■精神保健福祉援助実習指導B-2 +帰校指導 受講申込 (対象者に配付の申込用紙)</p>	<p>10月31日(金)</p>	<p>「■指導B」 p. 254～257 +『試験・スクーリング 情報ブック2014』 p. 37～41</p>

<p>◆★精神保健福祉援助演習 1 単位めレポート (スクーリング事前課題)</p> <p>※受講希望者数により12/13・14「■精神保健福祉援助演習A」との合同受講になる場合があります。</p>	<p>11/15・16受講希望者 →10月15日(水)</p>	<p>(注) 『レポート課題集 2014(社会福祉編)』 「◆★演習」 p. 266～270</p> <p>+『試験・スクーリング 情報ブック2014』 p. 37～41</p>
---	-------------------------------------	---

■教育実習・障害者(児)教育実習・介護実習関連

	締 切 日	備 考
<p>教育実習・障害者(児)教育実習 誓約書・健康診断書(・個人調査票のコピー)提出</p>	<p>12月実習開始者 →10月15日(水)</p>	<p>※事前指導受講済者のみ対象</p>
<p>10月生 今後の教育実習・教育 実践演習受講希望者 履修カルテ(9/12発送分)</p>	<p>10月25日(土)</p>	<p>『学習の手引き』 3章</p>

■その他

●科目等履修生（10月生）

- ・ 継続申込締切 10月10日(金)
- ・ 学費納入期限 10月20日(月)

●卒業研究

- ・ 申込締切（9月卒業希望者） 10月5日(日)
- ・ 2回めガイダンス申込締切（福祉心理学科のみ） 11月4日(火)

社会福祉原論スクーリングを履修された方々へ

教員 MESSAGE

教授 田中 治和

はじめに

2014（平成26）年度に八月末までに、仙台市本校地でのスクーリングをはじめ、オンデマンド方式のスクーリング、青森市及び新潟市でのビデオスクーリングを受講された300名近い方々に、担当教員からの御礼と、あわせて今後この科目を履修予定者へのオリエンテーションを兼ねて、若干の所感を述べていきます。

社会福祉原論の目的

私は、社会福祉原論の目的を、通信教育部開設で講義担当以来、一貫して次の二つと考えております。すなわち、第一に社会福祉全般の基礎的知識の学習と、第二に社会福祉観の涵養です。より現実的に言えば、前者は、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験科目の一つである「現代社会と福祉」の合格水準（概ね60%）に到達する学力（知識量）の獲得であり、後者は、社会福祉の援助・支援を必要とせざるを得ない人々へ関わる社会福祉実践及び（スクーリング11コマ目で論じました）“実学”としての社会福祉学の基盤づくりとなります。

なお、限られた学部（学士）課程の学修時間から、その配分を、前者5：後者3と指定しております。そのため、レポート課題は、①②③単位めが前者を、④単位めが後者のために設けております。逆にスクーリングでは、全体の半分近くの時間と内容を、後者になるように意図して講義しているつもりです。

スクーリングを担当しての感想と御礼

私は、率直に述べるならば、毎回毎回、大変な緊張と不安でスクーリング第一日目第1コマ目を迎えております。年を重ね、今回ですでに12回目の経験となりましたが、スクーリングが近づくと未だに心底恐怖感が募ります。

なぜ、そうなるのか？ 根本的には私の臆病な性癖にあり、ほとほと情けなくなります。そしてもう一つの理由は、履修される方々の背景や状況を勘案してしまう点にあるのかもしれませんが。担当教員は、履修される方々の個人情報は何一つ存じ上げません。では、何を手掛かりとしているのか…。

それは、レポート課題④単位め「自らの社会福祉観をまとめてください」にあります。

私は、原則的に毎週水曜日を通信教育部レポート添削の日としています。レポート課題の①②③単位めは、ほぼ同じ解答が書かれており比較的(失礼な表現ですが)機械的に対応できます。

しかしながら、④単位めは違います。わずか本文1800字程度のなかに、履修される方の人生が凝縮したもの、私の貧弱な想像を超える深い観点から論述されたレポートは、まさに襟を正して拝読するものばかりです。直截に言えば、これら秀逸なレポートは、図書館や書店にある凡百の社会福祉のいわゆる教科書を大きく凌駕し、また日々講読する研究論文から得ることできない大いなる知的刺激を受けます。まさに感動です。このようなレポートを添削するひとは、通信教育部の担当者としての冥利に尽きます。この紙面をお借りし、心より感謝と御礼を申し上げます。

また、スクーリングでのアンケート用紙に記載されている内容、オンデマンド方式でのコメントを、読むたびに、ここまで深く考えている方が受講者の中にいる事実を毎回確認しております。すでにスクーリングは終

わってしまっている訳で、今更、受講者にお詫びも修正も補足できないとわかっておりますが、穴があったら入りたい心境です。

それゆえ、スクーリング（もちろんオンデマンド方式もビデオスクーリングも含め）を受講する方々の中には、どれほど深く人生を生き、今いかなる（甚だ僭越ながら）厳しい現実と直面しながらも真摯に学ばれているかと思えば、講義担当者が緊張せざるを得ないかは、ご理解いただけるのではないのでしょうか。

しかしながら、次の事柄は明記しておかなければなりません。

それは、この緊張感の伴うスクーリングやレポートの添削等の通信制の担当という営為が、私の怠惰な教育研究を、微力ながらも深化と進展を可能ならしめた一番の要因と考えております。相対的に若い世代を中心とする通学制では、到底辿り着くことの困難な世界を経験できたことを、これまで通信制で私の担当しました社会福祉原論を履修された方々に、改めて御礼申し上げます。

“目礼” “黙礼” に対する御礼

仙台本校地においてのスクーリングの三日目（最終日・12コマ目）の試験時において、私は受講者の試験状況の確認のために教室にいました。ご存じのとおり所定時間経過後、答案用紙を提出し退席可能としております。

これまでも同様なことはありましたが、今年度は、数多くの（大半と言えるかもしれません）受講者の方々が、答案用紙を提出後、私に対して“目礼” “黙礼” をされて退出されました。

本当にありがたいことであり、拙い私のスクーリングを気品のある雰囲気でご閉じることができました。ここに改めて感謝と御礼を申し上げます。

どうぞお身体をお大事に…、ますます学修を深められてください。

スクーリング・アンケートより(1)

アンケートよりスクーリングの講義の感想を抜粋いたしました。

●社会福祉原論

- ・社会福祉への考え方だけでなく、言葉の受け取り方、まとめ方、ものの見方、考え方を示してくださる貴重な授業でした。現在相談援助業務についている自分の態度の甘さを痛感します。私自身の社会福祉観を、先生の授業を通じながら深めていきたいと思います。
- ・現在福祉の仕事をしていますが、講義はとても分かりやすく、興味深いものであったと同時に、とても重苦しいものでした。今後授業で得た苦しさを忘れず、実践のあり方を模索していきたいと考えています。
- ・「考える」ことのあり方について、深く学ぶことができました。とても有意義な3日間でした。
- ・福祉とは一体何か、学べば学ぶほど、どんどんわからなくなってしまう。だからこそ、学び続け、そして実践し続ける。今回のスクーリングでそう教えていただいた気がします。

●福祉社会学

- ・先生の熱い講義によって、エネルギーをいただきました。人として大切なことや人の関わりの中で社会が作られていくということ、先生は今まで経験されてきたことを伝えてくださり、心が動かされるものを感じました。
- ・先生のパワー溢れる講義、期待通りのものでした。社会学は自分の身の周りに起きていることを色々な視点から見ることだと感じるとともに、自ら世の中で起きていることに関心を持つこと、物事の裏に潜む問題にも目を向けることが重要であると感じました。
- ・全ての内容が新鮮で、鮮明に自分の頭にインプットされました。

●心理学研究法Ⅱ

- ・研究論文をまとめるうえでの統計の重要性を学び、実際にSPSSを用いるなどの経験ができてよかったです。
- ・研究法Ⅰはオンデマンド受講でしたが、今回は実際に先生の授業を受けられ、大変勉強になり、刺激にもなりました。WISCにも実際に手を触れて体験でき、よかったです。
- ・講義内容は難しく、理解するのに時間がかかりましたが、先生やティーチング・アシスタントに助けられながら、楽しく、ほぼ満足にスクーリングを終えることができました。